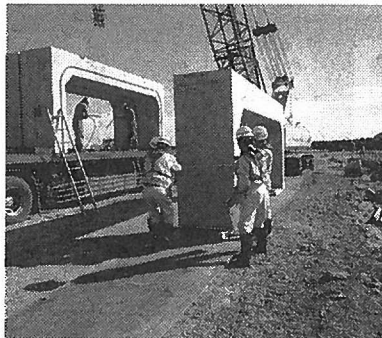


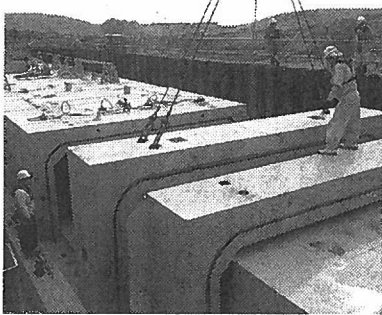
門形カルバートで放流函補強

斜角門形カルバート工法研究会 仙台湾南部海岸の28m

国土交通省東北地方整備局仙台湾河川国道事務所発注の仙台湾南部海岸堤防復旧工事に、斜角門形カルバート工法研究会の斜角門形カルバートが28m施工された。仙台湾南部海岸は仙台市の七北田川河口から宮城県山元町の福島県境まで約60kmに及ぶ長大な海岸。このうち仙台湾海岸(深沼北七区、深沼南七区)、名取海岸(関上・北釜七区)、岩沼海岸(二の倉七区、蒲崎七区)、山元海岸(笠野七区、中浜七区)の7七区で、震災により被災した海岸堤防の復旧工事が進められており、仙台空港や南浦生浄化センター等の重要施設の近くは12年度末に完工、その他についても15年度末の完工を目指している。



斜角門形カルバートの現場搬入状況



放流函の補強工事の様子

斜角門形カルバートが、堤防築堤前に放流函の補強が必要だった。補強工事にあたり、工程短縮と放流函へ与える影響を最小限に抑えるため、斜角門形カルバートが採用された。カルバートのサイズは5200×2000×1000mm。斜角度は90度。施工延長は28m(28個)。研究会の会員である共和コンクリート工業

が設計提案、販売し、前田製管が製造、出荷を担当した。斜角門形カルバートは通常、道路と水路、道路と道路の交差点で施工される。現場打ちカルバートに比べ、工期短縮や工

費削減に効果を発揮する。最近では道路改良工事や河川改修工事だけでなく、農道整備や民間の小規模橋梁建設工事にも採用されるなど、用途拡大に向けた設計提案を強化している。

コン 三重工場自然乾燥増設

松岡 燃料費 生産能力3倍増

岐阜県のP・Ca製品メーカー、松岡コンクリート工業(松岡重吉社長)は三重工場(いなべ市)で自然乾燥ラインを増設、8月から稼働を開始する。主力製品である道路用のCD側溝や河川用の護岸ブロックなどの生産ラインに適用。設備投資額は約2億円。生産能力は日産600パレット。これにより全体の生産能力は約3倍に増強される。自然乾燥による養生

防災・減災で講習会

PC工学会

プレストレストコンクリート(PC)工学会(会長・二羽淳一郎東京工業大学大学院教授)は5日、東京都渋谷区の津田ホールで「防災・減災・強靱化に対するPC構造物の取り組み」をテーマにPC技術講習会を開いた。講義ではPC建築物の防災・減災化や道路橋や鉄道橋の維持管理、PC鋼材にかかわる最新の技術動向や研究を紹介するとともに、PC工学会の国際化への取り組みを紹介した。講習会は年次事業として41回目を迎え、今年から全国9



8月1日からALC板の値上げを表明した住友金属山形製鉄所。生産体制や原材料の見直し、さら

値上げに不退

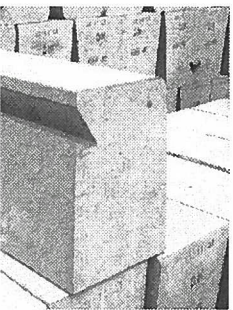
あることにご理解をいただきたい」というのは八木良樹社長。メーカーとして供給責任を果すため、これまで

回賞 40境 第環 防草ブロックが優良賞

植物の特性生かす

全国防草ブロック工業団が表彰するもの。12日会の防草ブロック技術が第40回環境賞の優良賞を受賞した。環境賞とは、環境保全に寄与する周知、

「植物の特性を利用した防草技術」。植物は夏場の成長が早く、歩車道境界ブロックの間から生えた雑草などは草刈



ブロックタイプの

力、費用とも国や県市町村等の道路管理者の大きな負担となっている。防草ブロックは植物が本来持つ特性を利用した防草技術で、歩車道境界ブロックに下向きの切り欠けを設けることにより、植物の成長を下向きに誘導することにより雑

現在の4倍のスピードでコンクリート打設できる新鋭ラインとし、生産性を飛躍的に高めた。自然乾燥による養生工程では、コンクリートが硬化する際に発する熱を有効利用する。コンクリート打設の生産性が飛躍

くのPC技術者が参加しやすいようにした。東京会場では二羽会長が「安全安心な社会に向けた都市再生とインフラ整備」について特別講演をした。笹子トンネルでの天井板落下事故や昨年の8月に発生し、市街地で死者・行方不明者を出した近畿中部の集中豪雨を取り上げ「こうした災害を防ぐためには、経年劣化が懸念されるコンクリート構造物の丁寧な維持管理が絶対必要。ソフト・ハードの両面から先進的な技術を取り入れ、世界のモデルになるような維持管理を実施すべき」と訴えた。諸外国の都市のインフラ整備事例として台湾の高速道路拡

解